



公益  
社団法人 京都府放射線技師会

# 京放技ニュース

3 / 2017  
(通算 682 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi @ mbox.kyoto-inet.or.jp  
ホームページアドレス http://www.kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ) キョウトフホウシャセンギシカイ

## 「振り返り」してみました

京都府放射線技師会副会長 原口 隆志

3 月となり、平成 28 年度も終わりに近づいてきました。

今年度より三役を含めた新たな体制で技師会活動を行ってまいりましたが、多くの会員のご協力により色々な活動する事が出来たと思っております。心より感謝申し上げます。

まだ少し事業は残っていますが、簡単に平成 28 年度を私見ではございますが改めて振り返ってみたいと思います。

ところで「振り返り」とは、(1)身体を翻して後方を見る、後ろ側を向く、などの意味の表現。(2)過去の物事を顧みる、思い起こすこと。回顧すること。(3)これまで行われてきた物事の一連の流れを総括すること。などとあります。

また「振り返り」とは、改善出来るところを見出し、今後のより良い活動につなげるべき手段でもあり、PDCA サイクルや、KPT 等の手法がよく使われるのはご存知の通りであります、ご紹介しますと、PDCA サイクル：改善活動の例

P (Plan : 計画)、D (Do : 実行)、C (Check : 評価)、A (Action : 改善)

⇒「振り返り」はこの中で「評価」と「改善」に用いられます。

KPT 法：「振り返り」を行う際に用いる手法の一例

これは、定期的なサイクルの中で以下の手順で進める手法です。

1. 「Keep : 継続すべき事」「Problem : 問題・課題」を集める。

2. 集めた情報を元に「Try : 改善のための施策」を検討・実施していく。

とあります。これらは建設的に良い方向に向かうための方法であり、振り返るとえてして批判論議になりがちであるのですが今後に繋げていく事が重要であります。

さて、平成 28 年度の京都府で行ってきた事業に目を向けますと、学術・厚生・渉外・管理士・組織調査や情報・編集・財務に庶務と多くの事業を行っていたことを改めて認識いたします。ここで一度に全ての検証は無理がありますので、その中でも学術事業について述べさせていただきます。

今年度も、定例研修会、府民公開講座を含む学術大会、日放技主催ではありますが「業務拡大に伴う統一講習会」「フレッシューズセミナー」医療基礎講習の「一般撮影」「看護学」など盛りだくさんの事業を行っています。

定例研修では、MRI 検査での基礎的な講演をはじめ、京都医療科学大学の学生も参加しての研修会などが行われましたが、より多くの会員の皆様に参加をしていただき、日常業務に役立てられるように検討をしていきたいと思っております。また開催の案内をさらに広報していく必要があるかと思っております。

公開講座を含む学術大会におきましては、今回は「がんになったら・・・仕事は」をテーマに多くの参加者のもと盛会に開催することができました。また同時に地区合同研修会を行い、学術大会として開催することで会員の参加を増やすよう試みました。来年度以降も公開講座は開催する予定で、プログラムの検討、幅広い広報など、さらに推し進めていきたいと思っております。

「業務拡大に伴う統一講習会」では、今年度は 3 回の開催でしたが、まだまだ技師全体からすると受講修了者を増やす必要があるかと思っております。実習がありますので、1 回当たりの受講数をあまり増やせない事情がありますが、来年度は 4 回の開催で準備したいと考えています。可能な限り参加をお願いしたいと思っておりますし、診療放射線技師法改正につながる講習会として必要なものであり、引き続き理解していただくことが重要かと思われまます。

医療基礎講習については参加者の感想も良好であり、日々の業務に生かせる講習として来年度も開催を検討しているところです。

簡単に今年度を振り返りましたが、まだ事業は残っていますので会員の皆さまと一緒に盛り上げていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

まだまだ、課題や今後取り組むべき事項があるとおもいますが、一度に全ての課題を振り返り解決することは無理ですが出来ることから行っていきたいと思っております。さらに技師会活動を盛り上げ、技師の地位向上等に努めていきたいと思っておりますので、その為にもご理解御協力の程よろしくをお願いいたします。

## 関西広域連合主催 原子力災害時研修会のご案内

公益社団法人京都府放射線技師会会長 河本 勲則

関西広域連合より下記の研修会の案内が来ています。この研修会は京放技会員のみが対象ですので、これを機に、原子力災害時の診療放射線技師の役割の再確認と、専門家としてサーベイメータの取り扱い方法を勉強されてはどうでしょうか。  
京放技ホームページから申し込みをお願いします。

### 原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会

#### 1. 目的

平成 27 年 8 月に京都府放射線技師会等と関西広域連合とで「原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する協定」を締結したことから、研修会を開催することにより原子力災害時の対応強化を図る。

#### 2. 主催

関西広域連合

#### 3. 開催日時

平成 29 年 3 月 5 日(日) 13:30～16:30

#### 4. 場所

京都府民総合交流プラザ京都テルサ大会議室 (A、B)

#### 5. 内容 (予定)

##### (1) 講義

##### ア. 原子力防災について

内容：原子力災害対策重点区域、緊急時活動区分、緊急時活動レベル (EAL)、運用上の介入レベル (OIL)、原子力防災活動の流れ等

##### イ. 京都府の取組について

～避難退域時検査 (スクリーニング検査) 場所における活動を中心に～

##### ウ. 「避難退域時検査等及び除染」について

内容：検査場所の設定、車両の汚染検査、受付、汚染検査、除染 (車両の除染含む)、再検査、鼻スメア、甲状腺スクリーニング、検査受検証明書等

##### (2) 実習

##### ア. 放射線測定器の使用法

内容：GM 管式汚染サーベイメータの使用法

NaI シンチレーションサーベイメータの使用法

##### イ. 避難退域時検査における測定方法

内容：汚染検査、甲状腺スクリーニング

#### 6. 時間割 (予定)

13:30～ 開講式

13:35～ 講義 1：原子力防災について (20 分)

13:55～ 講義 2：京都府の取組について (20 分)

14:15～ 講義 3：避難帯退域時検査等及び除染について (45 分)

15:00～ 休憩

15:10～ 実習 1：放射線測定器の使用法 (20 分)

15:30～ 実習 2：避難退域時検査における測定方法 (55 分)

16:25～ 修了式

## 平成 28 年度近畿地域診療放射線技師会囲碁大会報告

### 京都チームは準優勝

厚生委員会 金津 武弘

2月5日滋賀県放射線技師会担当により大津市内ホテルピアザ淡海にて選手、役員、応援、スタッフ等60数名が集い開催されました。

地元滋賀県放射線技師会会長の挨拶に始まり、近畿地域理事の兵庫県技師会清水会長の言葉（この大会が継続されることをユニークに話された）そして競技説明が滋賀県チームの主将よりなされ、試合開始です。

あいにく早朝より小雨が降り続く中の囲碁大会でしたが、各府県の代表選手が白熱の対局を繰り広げた結果、今回は大阪府との最終戦に勝った和歌山県チームが見事に優勝を飾りました。

わが京都府チームは力及ばず今年も準優勝でした。尚、敢闘賞は4連勝の森江彰選手が選出されました。以下に団体と個人の結果を掲載します。

#### 各府県チーム成績 (団体の部)

優勝	和歌山県	4勝0敗	(16勝4敗)
準優勝	京都府	3勝1敗	(14勝6敗)
3位	大阪府	3勝1敗	(11勝9敗)
4位	兵庫県	2勝2敗	(11勝9敗)
5位	滋賀県	0勝4敗	(5勝15敗)
6位	奈良県	0勝4敗	(2勝18敗)

#### 京都府チーム出場選手成績 (個人の部)

選手名	成績	次回持ち点
小林 徹	(240) 1勝3敗	(236)
金津 武弘	(240) 3勝1敗	(244)
荒木 信義	(238) 3勝1敗	(242)
江南 伸治	(234) 3勝1敗	(238)
森江 彰	(212) 4勝0敗	(220)

#### 通算成績 (優勝・準優勝のみ)

第1回大会 (平成元年度) ~ 第28回大会 (平成28年度)

参加回数	優勝	準優勝
京都 27回 (第4回欠場)	9回	7回
奈良 27回 (第2回欠場)	5回	4回
大阪 28回	6回	5回
滋賀 26回 (第1、4回欠場)	3回	3回
兵庫 28回	2回	7回
和歌山 23回 (第6回より参加)	3回	2回



京放技の選手 (左向き5名)

## 平成 29 年公益社団法人京都府放射線技師会新春の集い報告

厚生委員会 中川 稔章

2月5日(日)府民公開講座、学術大会の後、京都ロイヤルホテル&スパにて京都府放射線技師会新春の集いを開催し、賛助会員を含む50名が参加してくださいました。午後6時より河本会長の挨拶、井ノ崎名誉会員の乾杯の音頭により新春の集いを始めさせて頂きました。今年も賛助会員より自己紹介をしていただき、会員、賛助会員それぞれが情報を交換したりしておおいに盛り上がる事ができました。午後8時30分、原口副会長の閉会の挨拶により、和やかなうちに終了いたしました。



総勢50名に参加いただきました

## 平成 28 年度京都府放射線技師会公開講座報告

学術委員会 後藤 正

### 講演①：『働く世代でがんになったら ～情報を知っていればと後悔しない為に～』

講師：京都ワーキングサバイバー 前田 留里

自分のがん患者となつてからの経験をもとに「あなたのがんと就労を考える」ワークシートを用いて「自分のがんになったら」ということをテーマに解説いただきました。

#### Q1.がん情報を集める

乳がんブログはその当時闘病ブログがほとんどであり、いい情報はなかった。本は正しい情報と間違つた情報が入り混じつており不安をあおる恐れがある。知り合いに医療関係者がいることは少ないかもしれない。ではどこで情報を得ればよいのか。科学的根拠に基づいたがん治療のとりまとめをおこなっている国立がん研究センターの情報をもって支援をおこなう施設、それが京都府がん総合相談支援センターである。正確で多くの情報が得られる施設である。

#### Q2.治療費と生活費をどうする

生命保険は入院を対象にしたものもあり、外来治療が主流の現在のがん治療には使にくい場合があり、本当に自分にあった保険がどうかを見極める必要がある。職場からの支援は働く環境により様々である。国や自治体の制度は大いに利用すべきであり、高額療養費制度により最小限の費用負担で済むこともある。産業保健支援総合センターによりがん治療の治療費の相談をまとめておこなうことが可能である。

#### Q3.会社に何を伝え、何を確認すべきか

会社側が欲しい情報は入院期間、自宅療養などの休養の情報、今後の治療の見通し、通院頻度など就労に関連する情報である。一番大事なことは使える制度や就業規則などを治療に合わせてしっかりと確認、相談することである。また、働き方に関する自分の思いを伝えることも大切である。「あなたの仕事は闘病ではなく社会で活躍できる存在だと」知っておいて欲しい。

「自分が知っておくべき情報」「自分が伝えないといけない情報」を理解して欲しい。

がんになって自分が死ぬ存在だということだと知つた。子育てしながら生きていくだけで精一杯、何のキャリアもない、尚且つがん患者になってしまった自分がいた。いつかやろうと思つていることを今、すべきだと思ひ、いろいろなことをした。「自分のために集めたものは人にとっては何の役の価値もない」。でも「自分が人に与えたものは永遠に残る。その人の中でずっと生き続ける」だからこそ自分自身が楽しむのではなく、多くの人と楽しめる時間とか人に喜びを与えられる人になりたい。がん患者としての経験を生かしてがん患者さんの支援をおこないたい。全力で生きたいと思ひました。皆さんも死ぬときに後悔なく、自分は生き切つたと思ひえるよう 1 日 1 日を大事に過ごしていただきたいと思ひます。



### 講演②：『がんへの社会的備え ～労務と制度の観点から～』

講師：特定社会保険労務士 杉本 匡史

労務支援では「患者さんの立場」「家族の立場」も大切だが、「企業の理解」がないと成り立たない。がん患者 1/3 が 65 才以下で働く世代に該当し、20～30 代では女性は男性の数倍多く、男性は 40 代から増える傾向ある。乳がんの患者が急増する中、昨年女性活躍推進法が制定され女性の働く環境も変化してきている。また、がんの罹患率が急激に増加、死亡率が下がり、且つ入院日数が短縮され、外来治療が増加し、働きながら治療をするサバイバーが増えてきている。平成 24 年の 6 月に国の方針



としてがん患者さんの就労支援ががん対策基本法に盛り込まれ、がん患者さんの雇用の継続に配慮するよう努めることが企業に努力義務として課された。しかし、80%以上の方が仕事を辞めたくないと考えているにもかかわらず、がん罹患した場合 1/3 が退職している状況は 10 年ほど変化がない。理由は不明だが今後の大きな課題である。就労支援を考える上でお金の問題がある。高額療養費制度、傷病手当金、などの自分が利用できる制度についてしっかりと検討し、就労計画していくことが必要となる。医師、職場との細かな連携、相談をして、自分ほどの様な形で仕事を続けていけるのかを模索しながら判断していく。その中で休職から復職に向けて戻りやすい環境を自分で作っていくよう心がけなければならない。企業の支援制度等について社労士がどれだけサポートできるかによって復職率、退職率が変わってくるのではないか。がん就労支援は企業にとっては職場環境を整備する機会であり、患者さんにとっては自分の生活とか生き方を見つめ直して再度自分の価値観を再構築する機会である。がん就労について皆さんに少しでも理解してもらえた幸いです。

### 講演③：『医療者ががんになって ～再発を経験して、働く大切さを考える～』

講師：乳がん看護認定看護師 沢井記念乳腺クリニック 飯嶋 由香里

認定看護師とは、日本看護協会が定めている認定資格であり、看護師経験 5 年以上、615 時間以上の講習を受け、試験に合格することにより取得できる。講習等 50 ポイントの点数を持って 5 年ごとの更新としている。がん関連認定には緩和ケア、がん放射線治療、がん化学療法、乳がん看護、がん性疼痛看護認定看護師等がある。患者さんに対してより質の高いケアを実践していくこと、看護師への指導が目的である。



乳がん看護認定看護師は現在全国で 316 人、京都には 5 人いますが、年々増加傾向にある乳がんに対してはまだまだ少ない状況です。教育機関は 1 か所、静岡県立静岡がんセンターだけである。富士山が眺められるシチュエーションのよい病院です。

私は乳がんサバイバー歴 8 年です。32 才の時に乳がん罹患、術前抗がん剤、手術、放射線治療、術後 3 年で肺転移、抗癌剤治療、肺切除、現在は無治療経過観察中の経緯を持ち、3 人の子育て中である。抗がん剤治療について、最初 3 ヶ月は副作用が強く休職、残り 3 ヶ月は治療を続けながら復職した。休んでいた期間と働いていた期間を比較すると働いている期間の方が生きている実感が得られた。抗がん剤の副作用が強く寝ていた時間も多くあり、家事、育児、仕事ができなくて自分の責任が果たせない辛い時期がありました。白血球減少によって免疫力が低下し病気に感染しやすい状態で生活に支障をきたすこともありました。脱毛に関して、眉毛、まつ毛、髪の毛をすべての髪が抜けていきます。髪の毛のありがたみがわかり、すべての「当たり前」は「ありがとう」に変わっていく瞬間があった。子供は適応能力があり、家族にも随分精神的に助けられました。手足のしびれの副作用により仕事にも支障がありましたが、職場スタッフの理解により難しい業務は外してもらい対応しました。抗がん剤の治療費は高く、自分が生きていくにはお金がかかることを実感しました。お金の相談に関しては専門家にたのむことも自分達の大切な役割である。がんになったためにやりたいことができなくなることががんにかけているような気がして、がんを負けない精神力を持ちたい、やりたいことはできるだけやる、がん患者さんの役に立ちたい、そんな思いでこの認定看護師をとることを決意しました。医療者として患者さん目線で医療提供したい、特に再発患者さんの治療決定などは患者さんと家族の意思を尊重しながら後悔のない計画作りのお手伝いをしていきたいと考えております。夢はがんを奪われたくない。あなたにとって仕事とはなんですか。仕事を持ち、社会とのつながりを持つことは自分の糧であり、安易に仕事をあきらめないでほしいと思います。

## 両丹地区懇親会報告

両丹地区理事 小川 武

今年度は充実した春、夏、秋季研修会を開催しましたので冬季は親睦を目的とした両丹地区ボウリング大会および新年会を 1 月 21 日(土) に開催しました。参加者はボウリング大会 19 名、新年会 20 名でした。

ボウリング大会は 2 ゲームの合計点で競い、若者から年配まで大変盛り上がり盛況に終わりました。優勝者は 340 点で北野琢也、準優勝 333 点で森川敬斗、3 位 310 点で池田雄士であり上位は舞鶴共済病院の若手 3 人が独占した結果に終わりました。

その後の新年会にて表彰を行い、1 次会、2 次会、締めめのラーメンまで、ほぼ全員が出席し旨い酒を飲み交わし楽しい時間を過ごしました。

参加して頂いた皆様、有り難うございました。

## 第 6 回学遊会のご案内

組織調査委員会 蒲 順之

厚生委員会 中川 稔章

今年度も、共に学び、遊び、絆を深めることを目的とした学遊会を開催します。毎年好評のバーベキューを友愛の丘にて行いますので会員に限らず、多くの参加をお願いします。

詳しくは、京放技ニュース 2 月号もしくはホームページに掲載しています。

### 記

日程：平成 29 年 3 月 26 日(日) 11 時 (JR 奈良線 長池駅より送迎あり)

場所：友愛の丘 (京都府城陽市寺田南中芝 80)

会費：技師会員 3,000 円、平成 28 年度新卒入会会員 1,000 円

一般会員家族 3,000 円、非会員 4,000 円、未成年無料

なお、予約の都合上 3 月 18 日(土)までに申し込み下さい。

以上

## 第 10 回理事会報告

平成 29 年 2 月 10 日

議長に新井理事、書記に丹後理事を選任し午後 7 時より議事に入る。

### I. 経過報告及び計画に関する件

#### 1) 経過報告および計画 河本会長

(経過報告)

- ・ 1 月 8・9 日 業務拡大に伴う統一講習会 (京都第二赤十字病院)
- ・ 1 月 15 日 京都府原子力災害時医療講習会 (舞鶴赤十字病院)
- ・ 1 月 20 日 第 3 回南地区委員会 (京都医療センター)
- ・ 1 月 21 日 私立病院協会新春会員懇親会 (京都ブライトンホテル)
- ・ 両丹地区懇親会及び新年会 (舞鶴マリンボウル、進肴)
- ・ 1 月 31 日 京都府医療推進協議会会議 (医師会事務所会議室)
- ・ 京都市医務衛生課、京都府健康福祉部医療課へ無資格者への要望書提出、業務拡大に伴う統一講習会への参加協力要請
- ・ 2 月 4 日 京都府医師会新春賀詞交歓会(ホテルグランヴィア京都)
- ・ 京都府原子力災害時医療講習会 (南丹病院)
- ・ 2 月 5 日 第 28 回近畿地域診療放射線技師会囲碁大会 (滋賀県ピアザ淡海)
- ・ 府民公開講座・京放技学術大会・新春の集い (京都ロイヤルホテル&スパ)
- ・ 2 月 10 日 京放技第 10 回理事会 (京放技会議室)

(計画)

- ・ 2 月 18 日 近畿地域診療放射線技師放射線技師会会長会議 (ホテルアパローム紀ノ國)
- ・ 2 月 19 日 近畿地域診療放射線技師会学術大会 (和歌山ビック愛)
- ・ 3 月 5 日 関西広域連合 原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会 (京都テルサ)
- ・ 3 月 11 日 京放技第 11 回理事会 (京放技会議室)
- ・ 3 月 21 日 健康づくり協会会議 (京都テルサ)
- ・ 3 月 23 日 京都府緊急被ばく医療ネットワーク調査検討会 (京都社会福祉会館)
- ・ 3 月 26 日 第 6 回学遊会 (友愛の丘)
- ・ 4 月 5 日 期末監査 (京放技事務所)
- ・ 4 月 8 日 平成 29 年度京放技第 1 回理事会 (京放技会議室)
- ・ 4 月 29・30 日 業務拡大に伴う統一講習会 (京都医療センター)

#### 2) 各委員会報告及び計画

##### 【庶務】皿谷理事

- ・ 会員数 1 月 31 日現在 547 名 (先月+1)
- ・ (内訳) 名誉会員 5 名・正会員 517 名・賛助会員 25 社
- ・ 新入会 1 名、転入会 1 名、転出 1 名
- ・ ※平成 28 年度新入会累計 53 名 (再入会 6 名含む)
- ・ 1 月 4・21・28 日 委員会開催
- ・ 対外文書 86 件、発刊文書 3 件 (1 月 1~31 日)
- ・ 新卒入会 2 名、新入会 1 名、再入会 1 名を承認

**【財務】渡里理事**

- ・会費納入状況(平成 28 年 12 月末日現在)  
平成 27 年度会費未納者 6 名 (1.2%)  
平成 28 年度会費未納者 44 名 (8.6%)
- ・日放技より会費 30 万円、広告費 4 万円入金
- ・1 月 30 日、2 月 2 日 委員会開催 (京放技事務所)

**【学術】後藤理事**

- ・1 月 12 日 学術大会現地視察及び打合せ
- ・1 月 14 日 学術大会現地視察及びプロジェクト試写
- ・1 月 31 日 府民公開講座打合せ
- ・2 月 3 日 学術大会準備作業 (京放技事務所)
- ・2 月 5 日 学術大会、府民公開講座(京都ロイヤルホテル&スパ)
- ・2 月 19 日 平成 28 年度近畿地域診療放射線技師会学術大会参加予定 (和歌山市ビック愛)

**【編集】中島理事**

- ・1 月 20 日 南地区委員会出席 (京都医療センター)
- ・1 月 23 日 2017 年 2 月号ニュース校了
- ・2 月 5 日 府民公開講座・第 564 回研修会・新春の集い参加 (京都ロイヤルホテル&スパ)
- ・2 月 19 日 近畿地域診療放射線技師会学術大会参加予定 (和歌山県ビック愛)
- ・2 月 20 日 平成 29 年 3 月号ニュース編集作業予定

**【広報・渉外】新井理事**

- ・がん患者相談に関連する 3 団体へ府民公開講座ポスターを広報依頼
- ・1 月 9 日 府民公開講座ポスターをコミュニティボードへ貼付依頼
- ・1 月 14 日 第 43 回くらしと健康展報告書(医師会発刊用)最終修正版を提出
- ・1 月 20 日 第 3 回南地区委員会出席 (京都医療センター)
- ・2 月 1 日 平成 28 年度「無資格者による診療放射線技師業務防止に関する要望」書発刊、5 団体へ順次提出予定
- ・2 月 7 日 「第 52 回京都病院学会第 1 回実行委員会」出席 (京都私立病院協会会議室)
- ・3 月 7 日 「第 52 回京都病院学会第 2 回実行委員会/プログラム編成委員会」出席予定 (京都私立病院協会会議室)
- ・3 月末 平成 28・29 年度京都府補助金関係申請書作製予定
- ・第 52 回京都病院学会準備委員・座長選出を要請

**【組織調査】蒲理事**

- ・1 月 11 日 厚生・組織調査合同委員会開催 (京放技事務所)
- ・1 月 20 日 第 3 回南地区委員会参加 (京都医療センター)
- ・1 月 30 日 学遊会打ち合わせ (友愛の丘)
- ・2 月 5 日 京放技師会学術大会参加(京都ロイヤルホテル&スパ)
- ・3 月 26 日 学遊会開催予定 (城陽市友愛の丘)

**【厚生】中川理事**

- ・1 月 11 日 組織調査、厚生合同委員会 (京放技事務所)
- ・1 月 12 日 新春の集い打合せ (京都ロイヤルホテル&スパ)
- ・2 月 5 日 近畿地域囲碁大会参加 (滋賀県ピアザ淡海)
- ・京放技新春の集い開催 (京都ロイヤルホテル&スパ)
- ・3 月 26 日 学遊会開催予定 (友愛の丘)
- ・7 月 2 日 フレッシュ診療放射線技師の集い開催予定 (セントノーム京都)
- ・10 月 15 日 近畿地域診療放射線技師会野球大会開催予定 (山城総合運動公園)

**【情報】大西理事**

- ・1 月 8・9 日 業務拡大に伴う統一講習会に参加
- ・1 月 13 日 委員会開催 (京放技事務所)
- ・1 月 14 日 HP 作成ソフトウェア ホームページ V3 購入
- ・Windows デュアルブーストソフトウェアを購入
- ・1 月 15 日 原子力災害時の放射線被ばく防止に関する研修会参加
- ・1 月 20 日 南地区委員会に参加 (京都医療センター)
- ・1 月 21 日 両丹後地区研修会&総会に参加
- ・1 月 23・24 日 ホームページのトップページを更新 (大阪医科大学病院)
- ・2 月 2 日 西南部地区委員会参加 (大阪医科大学病院)
- ・2 月 5 日 第 564 回研修会、新春の集い参加 (京都ロイヤルホテル&スパ)
- ・2 月 7 日 ホームページのトップページを更新
- ・2 月 19 日 近畿地区診療放射線技師会学術大会参加予定 (和歌山県ビック愛)

**【管理士】山根理事**

- ・2 月 19 日 近畿学術大会にて管理士分科会発表予定 (和歌山県)
- ・近畿管理士ネットワーク会議参加予定

**【両丹学術】橋岡理事**

- ・1 月 21 日 両丹地区総会出席
- ・2 月 5 日 第 564 回研修会参加 (京都ロイヤルホテル&スパ)
- ・3 月 5 日 原子力災害放射線被ばく防止に関する研修会参加予定 (京都テルサ)

**【受賞者選考委員会】河本会長**

- ・京放技から推薦した永年勤続表彰者が全員内定した。  
日放技からの正式発表は 3 月の予定

**II. 地区経過報告及び計画に関する件****1) 【北地区】丹後理事**

- ・1 月 12 日 学術大会・学遊会等のお知らせ
- ・1 月 23 日 新春の集い出席確認、4 月開催予定統一講習会の案内
- ・1 月 31 日 京都府府民生活部原子力防災・研修の案内を配信

**2) 【中地区】楡理事**

- ・1 月 8・9 日 統一講習会に 2 名参加
- ・1 月 28 日 原子力災害放射線被ばく防止に関する研修会案内配信
- ・2 月 1 日 京都学術大会、近畿学術大会、CT 基礎講習、原子力災害時の放射線被ばく防止に関する研修会、学遊会の参加案内、4 月の業務拡大に伴う統一講習会の案内を配信
- ・2 月 5 日 京都府放射線技師会学術大会参加・出務 (京都ロイヤルホテル&スパ)

- ・2 月 7 日 計報連絡(事後)

**3) 【東地区】中川理事**

- ・1 月 13 日 基礎技術講習「CT 検査」奈良県開催、京都府放射線技師会学術大会(第 564 回研修会)の案内
- ・2 月 3 日 第 564 回研修会、委員会の案内
- ・2 月 5 日 委員会開催 (京都ロイヤルホテル&スパ)
- ・2 月 6 日 研修会・委員会報告、計報連絡
- ・2 月 7 日 原子力災害放射線被ばく防止に関する研修会の案内

**4) 【西地区】平井理事**

- ・1 月 14 日 「CT 検査」奈良開催案内配信
- ・1 月 19~22 日 技師会誌/広告掲載企業へお礼の連絡配信
- ・1 月 31 日 「CT 検査」奈良開催再度案内、「原子力災害時の放射線被ばく防止に関する研修会」案内配信
- ・2 月 2 日 「京都府放射線技師会学術大会」参加広報配信
- ・2 月 5 日 京都府放射線技師会学術大会スタッフ参加 (京都ロイヤルホテル&スパ)

**5) 【南地区】若畑理事**

- ・1 月 8・9 日 業務拡大に伴う統一講習会参加(京都第二赤十字病院)
- ・1 月 20 日 委員会開催 (京都医療センター)
- ・2 月 5 日 第 564 回研修会&府民公開講座、新春の集い参加 (京都ロイヤルホテル&スパ)

**6) 【両丹地区】小川理事(橋岡理事代読)**

- ・1 月 21 日 両丹地区ボウリング大会および新年会
- ・2 月 5 日 第 564 回研修会に両丹地区から池田雄士が発表 (京都ロイヤルホテル&スパ)

**7) 【西南部地区】松本理事(庶務理事代読)**

- ・1 月 10 日 委員会日程調整メールを送信
- ・2 月 2 日 委員会と情報交換会開催
- ・2 月 5 日 第 564 回研修会参加 (京都ロイヤルホテル&スパ)

**III. その他**

- 1.平成 29 年度事業計画案を承認
- 2.平成 29 年度予算案を承認
- 3.資金調達及び設備投資の見込み(金融機関より融資を受ける、建物等設備を新たに投資する予定)がないことを承認
- 4.夜勤従事者の年 2 回の健康診断・管理区域立ち入り者の教育研修の実施について各施設の取り組み方法を意見交換した。

以上、各議案について採択し承認された。(文責：丹後)

## 編集後記

来年度の日本診療放射線技師学術大会が 9 月 22 日から函館で開催される。私も演題を提出して参加しようと考えている。人生初の北海道である。実のところ、学術よりも観光が楽しみなのが本音である。が、移動だけで丸々 1 日かかるという遠方である。学術大会が 3 日間、移動で往復 2 日間、観光していると 1 週間かかる。それだけの休みを取ろうものなら職場ではブーイング間違いなしだ。観光のために参加者が多くなるか、移動日を含めた休みが取れずに参加者が減るのか、現状では未知数である。そこで私は今から有給も夏季休暇も 9 月まで取らず、あくせくと働こうと思う。誰かが急に当直できなくなれば進んで当直に入ろうと思う。そうして好感を得てから、9 月に 1 週間の休みを取得するつもりである。9 月の北海道は紅葉がピークで、いつもおいしい食材も旬なのでさらにおいしく、観光としてはベストである。

一昨年に京都で全国学術大会を開催したときには、提携した JTB に格安の宿を多数、用意してもらった。バックマージンももらっているのだろうか？と言われたこともあるが、実際は逆で、学術大会参加登録のシステムを JTB に用意してもらったために、参加者数に応じて JTB に料金を技師会から支払っているのが現状であった。あのときは秋の京都という観光ピークの時期であったが、「宿も格安で多数用意してくれ」と、何度もお願いしたものである。皆様も北海道の学術大会に参加と宿の手配を早々に登録してはどうか。2 月から日放技ホームページにて参加登録が開始されています。

編集委員会 中島 智也

## 求人のお知らせ

京都市上京区の診療所でアルバイトの求人があります。  
詳しくは京放技事務所までご連絡ください。

### ▶ 3 月以降の京放技活動

3 月 26 日(日)	第 6 回学遊会 (バーベキュー)	城陽市友愛の丘
4 月 29・30 日	業務拡大に伴う統一講習会	京都医療センター
7 月 2 日(日)	全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い	ホテルセントノーム京都

### ▶ 3 月以降の京都府以外での近隣講習会

直近の予定はありません

## 会 員 異 動

### 【新卒入会】 2 名

岡本 織人 (オカモト オリト) 洛和会音羽リハビリテーション病院 (東 3) 他 1 名

### 【新入会】 1 名

### 【再入会】 1 名

上山 重則 (ウエヤマ シゲノリ) 京都保健会京都協立病院 (両丹 1)